

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月20日

計画の名称	公共下水道の浸水対策重点計画（防災・安全）												
計画の期間	令和07年度～令和07年度（1年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	富士宮市												
計画の目標	市内下水道管渠（雨水）を整備することにより、公共水域の水質保全、浸水対策を促進し、住みよく快適なまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	69	A	69	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R7当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	公共下水道事業（雨水）の浸水シミュレーションを行うことにより、当初評価面積 976.1haから目標評価面積 2754haに拡張し、評価率を100%にして、地区ごとの浸水リスクを評価する。 市街化区域評価率 評価済面積／計画評価面積 100% = 2754ha / 2754ha × 100	35%	35%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事前評価チェックシート

計画の名称： 公共下水道の浸水対策重点計画（防災・安全）

事 前 評 価		チェック欄
I. 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性	1) 上位計画等と整合性が確保されている	○
I. 目標の妥当性		
②地域の課題への対応	1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と定量的指標の整合性等	1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と定量的指標の整合性等	2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と定量的指標の整合性等	3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と定量的指標の整合性等	4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性		
④事業の効果	1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
④事業の効果	2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性		
⑤地元の機運	1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性		
⑤地元の機運	2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

参考図面

